

第Ⅷ回 日本ケアマネジメント学会 ケアマネジメントスキルアップ研修会 in 大阪

認知症状のケアマネジメントの新たな展開

【研修の目的】 介護が必要になる原因のトップが「認知症」になりました。65歳以上の認知症患者数は平成24年の460万人から8年後の平成32年には600万人を超えると推計されています。認知症状をもたらす疾患も30以上あり、症状や生活上の課題も多様です。厚生労働省は新オレンジプランの数値目標を見直し、認知症の人を地域で支える体制整備を強化しています。この研修では、認知症に関する最新の医学的取り組み、認知症への制度的支援を学び、地域で認知症の人を支えるケアマネジメントの新たな展開を研修します。(認定ケアマネジャー資格更新に必要な実績点 10点付与)

<日時> 平成30年2月12日(月・建国記念日振替休日)受付 9:30 10:00~16:30

<会場> OMMビル 3階 0Cホール

(京阪電車「天満橋」駅東口、地下鉄谷町線「天満橋」駅北改札口から OMM 地下2階に連絡)

*学会HPに地図掲載

<参加費> 会員 5000円 非会員 8000円 定員 90名 *キャンセル後の返金はできません。

<申込締切> 定員になり次第締切ります。

【プログラム】 *講義内容・シンポジストが変わる場合があります。決定次第HPに掲載します

時間	研修内容	講師
		総合司会:羽石芳恵
9:30~10:00	受付	担当:学会事務局
10:00~10:05	開会挨拶	服部 万里子氏
10:05~12:30	シンポジウム「認知症のケアマネジメントの新たな展開」 ① 「認知症の人と家族の会の活動と今後」 ② 「医療とケアマネジメントの連携・統合」 ③ 「神戸市の新しい介護予防アセスメントシートの活用」 ④ 「大野木長寿村まちづくり会社の試み」滋賀県からの発信(仮題) ⑤ 「大阪の若年性認知症支援」 *質疑応答	司会:神谷 良子 ① 花俣 ふみ代氏 ② 落久保 裕之氏 ③ 鶴本 和香氏 ④ 西秋 清志氏 ⑤ 沖田 裕子氏
12:30~13:30	昼休み	
13:30~14:25	平成30年制度改正と認知症ケアマネジメント	服部 万里子氏
14:45~16:20	認知症に関する最新の医学的取組とケアの課題	遠藤 英俊氏
~16:30	アンケート 閉会挨拶	落久保 裕之氏

★講師
花俣 ふみ代(認知症の人と家族の会 常任理事)
鶴本 和香(篠原あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)センター長)
西秋 清志(大野木長寿村まちづくり会社)
沖田 裕子(特定非営利活動法人 認知症の人とみんなのサポートセンター)
遠藤 英俊(日本ケアマネジメント学会理事・国立長寿医療研究センター 長寿医療研修センター長)

★本学会研修委員
委員長 服部 万里子(日本ケアマネジメント学会理事 NPO 法人 渋谷介護サポートセンター事務局長)
委員 落久保 裕之(日本ケアマネジメント学会理事・落久保外科循環器科クリニック院長)
羽石 芳恵(日本ケアマネジメント学会理事・野口(株)介護ジョブ ハーティケア 主任介護支援専門員)
柴山 志穂美(日本ケアマネジメント学会理事・県立埼玉大学准教授)